

# 月刊 税理士事務所 CHANNEL

・監修・  
ミロク会計人会連合会

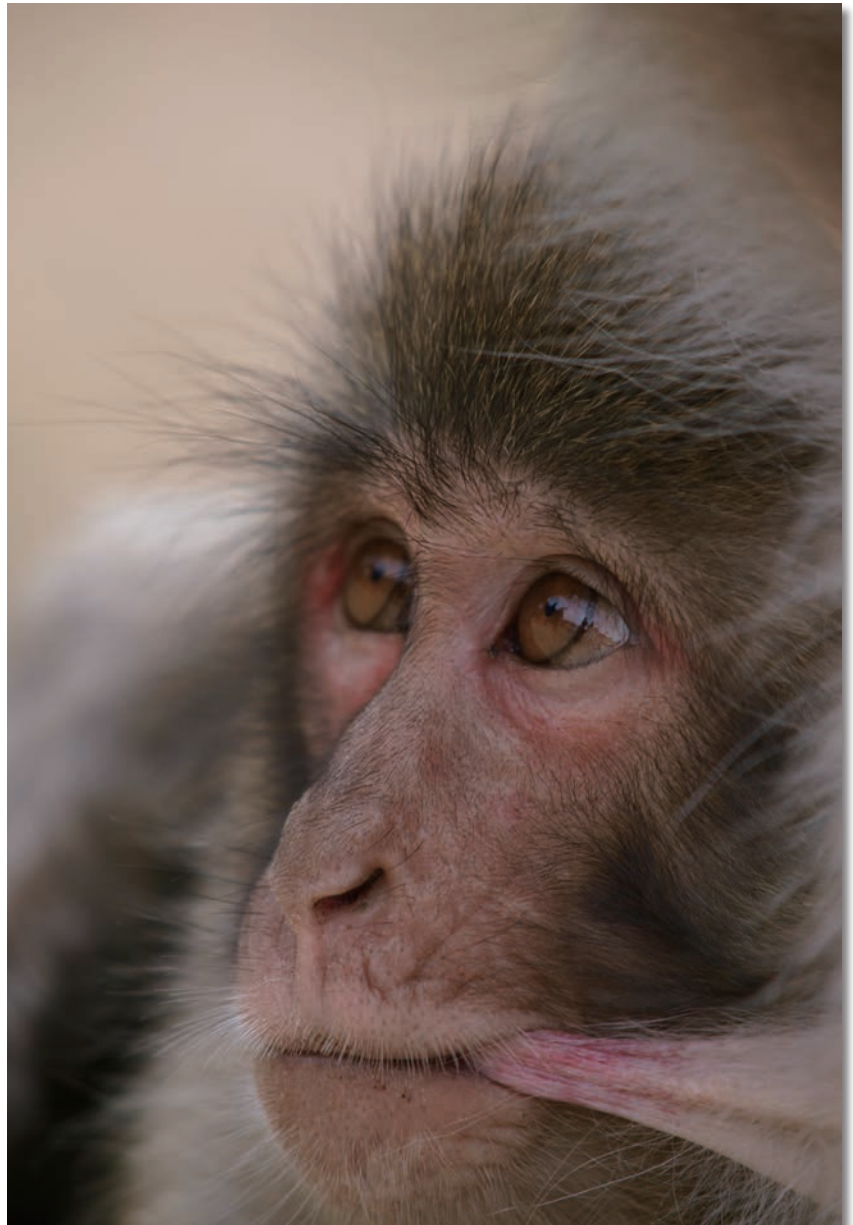
2011.6

No.358

## まるごと中国会

- MJS TOPICS
  - 「第36回全国統一研修会・京都大会」開催速報 ……2
- 事務所訪問
  - 徳永豊税理士事務所 ……3
- MJS サービスを活用した事務所経営
  - 村田税理士事務所 / ACELINK Navi 事務所請求管理 ……6
- 我が事務所の顧問先紹介
  - (株)南雲 ……8
- TOPICS
  - 「被災地支援・ボランティア」 ……10
  - 「防災グッズ」 ……11
- ご当地自慢
  - 愛媛県松山市・内子町 ……12
- 百年企業
  - (株)山岸竹材店 ……14
- ミロクシステム Q&A
  - 『ACELINK Navi・ACELINK 給与計算 (よくあるお問い合わせ)』 ……15
- リレーエッセイ
  - 四国ミロク会計人会 太田一司 ……19

# 6



撮影：田中 伸廣 場所：銚子溪自然動物園・おさるの国 (香川県小豆郡土庄町)

★次号は“まるごと中国会”です。★

第36回全国統一研修会・京都大会 開催速報



# 未来に向けて きょうからスタート 第36回全国統一研修会・ 京都大会

主催：ミロク会計人会連合会  
担当：近畿ミロク会計人会  
協賛：株式会社ミロク情報サービス

日程／平成 23年 10月 20日(木)  
会場／ウェスティン都ホテル京都  
〒605-0052 京都府京都市東山区三条けあげ  
TEL：075-771-7111

会計事務所及び企業経営者それぞれに、  
日本経済復興に向けた講演、実務研修を開催。  
「きょう」がスタートです。

東日本大震災や福島第1原発の事故の発生。すべてにおいて未曾有の事象に多くの人が戸惑いをおぼえ、日本の未来に不安を抱えています。

これまで、刻々と変化する現実を見つめ、その時々で必要とされる問題の解決策を求めて開催してまいりました「全国統一研修会」。36回目の今回は、いにしへの都「京都」で開催いたします。

この国難を克服し、必ずや復興させるための具体的な日本の成長戦略などを中心に研修を行います。

多数の皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

■式典・基調講演

講師：株式会社独立総合研究所(独研)

代表取締役社長・兼・首席研究員

近畿大学経済学部客員教授(国際関係論)

青山 繁晴(あおやま・しげはる)氏

演題：「祖国の希望が今、目覚める」



■第1分科会

企画運営：近畿ミロク会計人会 & MJS

演題：「顧問先サービス強化に

繋がる電子化の実践(仮)」

■第2分科会

講師：政策研究大学院大学教授

橋本 久義(はしもと・ひさよし)氏

演題：「頑張れ日本の中小企業」

〜中・韓・印・越・泰に負けない経営〜



■第3分科会

講師：清水寺 貫主

森 清範(もり・せいはん)氏

演題：「心の三つのすがた」



●懇親ゴルフ大会  
日程／平成23年10月21日(金)  
会場／琵琶湖カントリー倶楽部  
〒520-13005 滋賀  
県栗東市御園513番地  
TEL：077-1558-0121  
●記念旅行  
日程／平成23年10月21日(金)  
23日(日)  
旅程／鋭意設定中。  
※平成23年9月22日〜25日  
「アジアパシフィックオープン」  
ご期待ください。





# 銀行マン時代の経験を 生かして 地域経済の成長に貢献!!

事務所訪問

徳永豊税理士事務所の皆さん



## 徳永豊 税理士事務所

徳永豊先生は、銀行マン時代に各地の炭鉱街を回り、跡地の工業団地の融資案件などを担当してきたこともあり、現在はその経験を生かして、金融機関と丸亀の顧問先をうまく繋ぎながらしっかりとサポートしています。さっそく、徳永先生の事務所を訪問、そのお仕事ぶりを拝見させていただきました。



住 所 / 〒763-0082 香川県丸亀市  
土器町東4丁目699-3  
T E L : 0877-23-3206  
F A X : 0877-23-3926  
設 立 / 昭和 57 年  
職 員 数 / 6 名  
導入システム / ACELINK Navi

### 銀行マン時代のノウハウで 顧問先をサポート

—もともとは大手銀行に勤めていたそうですが、いつから税理士を目指されたのですか。

徳永 平成9年に丸亀に戻り、父の税理士事務所勤務しながら税理士試験の勉強に励みました。その後、平成15年に税理士登録をはたし、地道に事務所規模を大きくしてきました。

—銀行マン時代の生活についてお聞かせください。

徳永 バブル期には東京・新橋で1年ほど勤務し、100社ほど担当していました。当時はパソコンがなかったため、融資に関する稟議書はひと

つひとつ手書きで作成していました。おかげで、腱鞘炎になったこともあったほどです。その後、地域振興整備公団（現在の中小企業基盤整備機構）に出身して、炭鉱都市に建設された工業団地内の誘致企業の融資を担当しました。1カ月に1件のペースで融資案件を担当したのですが、その下調べにはかなりの時間をかけました。ちなみに、そうやって集めた情報はA4用紙1枚にまとめて、理事会に提出することになっていました。理事会では厳しい質問がですから、それに対する答えも準備しておかなければなりません。こうしたリサーチ業務のノウハウは後々の仕事でも大いに役に立っています。

現在は丸亀商工会議所の議員や日





豊富な経験を生かして顧問先支援を展開する徳永先生

本政策金融公庫の審査員（小規模事業者経営改善資金審査会役員）なども務めさせてもらっています。融資の審査については、銀行マン時代に融資に携わっていた経験が役に立っています。もちろん、元銀行マンだったというだけで、金融機関と顧問先をつなぐ際も話をスムーズに進めることができます。

—元銀行マンとして、金融機関に望むことはありますか。

**徳永** 地銀の使命は地元企業を成長させ、地域経済に貢献することです。決算書だけで企業の価値を判断し、利益が上がるような融資ばかりを行うのが仕事ではありません。経営者の思いや事業内容をしっかりと吟味

し、総合的に企業の価値を判断する必要があります。もちろん、その際には金融機関にリスクが生じるのは当たり前のことです。しかし、多くの金融機関はリスクを抱えるのを嫌い、依然として担保主義から脱却できていません。だからこそ、税理士が中小企業の思いを金融機関に伝えるべきだと考えています。

—現在ほどのようなことをモットーにしていますか。

**徳永** この仕事は顧問先の困りごとをヒアリングすることが重要です。ですから、とにかく情報を得るために、足で稼ぐことを大切にしなければなりません。これは銀行マン時代のことから、私が一貫して大事にしているモットーです。

### 新たな展開を見せる 地元・丸亀の産業

—ところで丸亀に戻ってきたとき、事務所はどんな様子でしたか。

**徳永** 当時の事務所の職員は女性ばかりでした。それに、申告書の作成などができる職員はほとんどいませんでした。ですから、簿記ができる人材を探したり、みんなで勉強しながらスキルアップに励んだりしていました。MJSのシステムを導入したのも

この時期でした。当時は手書きで決算書を作成したりしていたので、MJSのシステムを導入したときはその効率の良さに驚いたものです。以来、いろいろなメーカーのシステムも検討しましたが、自由度の高さでMJSのシステムがピカイチだと判断しました。たとえば、顧問先のなかに弥生会計のソフトで自計化を進めているところがあるのですが、MJSのシステムならばそういった他社のソフトで作成したデータにも対応することができすから。

また、現在は視覚的に月ごとの比較、年度ごとの比較を提供しています。とくに飲食店などは在庫や人件

費の調整をする場合に、季節や時期ごとの売上げ変動を把握することが肝心です。

—現在ほどのような体制で事務所を運営されていますか。

**徳永** 男性が3名いるのですが、そのうちふたりは税理士登録することができました。税理士が増えたことで、これからできる仕事の幅も大いに広がると思います。

—丸亀にはどのような産業があるのですか。

**徳永** 今治造船（株）をはじめとした造船業が盛んな地域です。ただし往時に比べて、造船業は衰退の一途をたどっています。大規模船舶の仕事

## 税理士までの道のり

徳永先生は大学卒業後、吹奏楽部の先輩がいたという縁で、大手銀行に就職。その後、東京勤務、地域振興整備公団への出向、大阪本店勤務などを経て45歳のときに退職。「人生やり直すにはいい時期だと一念発起し、税理士になることを決意しました。家内も香川の出身でしたから、何とか了解を得ることもできました」と徳永先生。そして、地元・丸亀市に戻った徳永先生は父上が経営していた税理士事務所で働きながら、税理士試験に挑戦しはじめました。こうして先生は経理学校に通いはじめた。しかし、それだけでは勉強不足だと感じ、香川大学大学院でも勉強することに。「若者に勝つためには、とにかく勉強量を増やす必要があったんです」と。以来、昼に事務所で仕事をした後に経理学校に行き、さらに夜は香川大学大学院で経済と会計、法律を学んだといいます。そんな努力の結果、先生は平成15年に税理士登録をはたしたのです。



は、価格が安い海外メーカーにシフトしてしまつたからです。とはいえ、パーツレベルで見ると、すべてが海外にシフトしてしまつたわけではありません。たとえば、プロペラなどの基幹部分は日本製のほうが安全・安心だということ、いまだに日本メーカーが受注しています。このことから、今後はひとつの船舶をそのまま受注するのではなく、パーツごとに安定した仕事を受注していくというビジネスモデルが有効になると思います。

— そのほか、どのような業種の顧問先がありますか。

**徳永** ユニークな業種といえば、竹の卸業があります。丸亀は一時期、竹の栽培を推進し、うちわ用はもちろんのこと、海苔の養殖の際に使用する柵などに使用してきました。しかし、プラスチックなどの新素材が台頭した結果、竹の需要は著しく減少していったのです。そこで、顧問先の卸業者は独自に小型の竹竿キットなどをつくつて、新たな販路の開拓に挑戦しています。また、ヨーロッパ向けに環境に優しいコンテナの緩衝材として孟宗竹を使うという試みも展開しています。このように一度は衰退してしまつた産業でも、そういった努力をつづけることで希望を見出せるケースはあるのではないのでしょうか。

そのほか、石材屋や漁業者もいれば、JR四国の子会社で座席のシートの張り替えなどを行っている会社や貨物船の荷縛りを専門に行っている顧問先などもあります。

### 代替わりにともない セミナーや勉強会に注力

— 先生自身も父上から代替わりされたわけですから、顧問先も同じように代替わりされはじめているのではないですか。

**徳永** たしかに事業承継などの相談が頻繁に来るようになりました。ただ、事業承継に関していえば、経営者が息子兄弟をふたりとも会社に入れている場合は注意しなければなりません。その兄弟の関係性しだいでは相続の際にトラブルが生じてしまうからです。そうならないようにするためにも、事前にそれぞれの会社を立ち上げておいたほうが得策かもしれません。また、最近では代替わりにともない、相続・資産税に関する相談も増えています。アパートやマンションを持つていて、それをどのように相続し、運営していくかで悩んでいる経営者が多いのです。

— 今後、どのようなことに力を入れていきますか。

**徳永** 代替わりで若手の経営者が増えてきたので、若手経営者向けのセミナーや勉強会を開催していきたいと思つています。

— ところで、東日本大震災の影響はありましたか。

**徳永** 直接的な影響はありませんが、住宅建材や資材が不足しており、建物が完工しないため売上げが立たない業者が出てきています。それでも、目先が効く経営者は早めに建材や資材を仕入れていたので、とくに大きな問題にはならなかったようです。また、丸亀の伝統工芸品「丸亀うちわ」の売上げにも影響が及んでいます。東日本大震災でイベントなどが自粛され、そのキャンセルなどがズとして使用される丸亀うちわが滞りつきとキャンセルになつてしまつたからです。しかし、電力不足などが話題になるなかで、最近ではうちの需要が増えてきているようです。そのほかにも盛り上がる気配のありそうな産業があります。福島第一原発事故にともない、火力発電関係の事業者はこれから仕事が増

えると言つています。

— これからも顧問先のために尽力してください。本日はありがとうございました。



事務所風景



業務日報により、顧問先や職員の状況が見えるようになり、顧問先との顧問料の交渉や業務の見直しにも役立っています。

業務日報を利用し、進捗確認や前年との比較を行い、業務の効率化を実践。さらに、事務所請求管理で、請求から入金業務をシステム化している村田税理士事務所の村田一所长に、MJS高松支社の営業担当、西山知宏が聞いてみた。

**西山** 請求書の発行をシステム化したのはいつ頃からですか。

**村田所長**（以下、役職略）ACELINKの導入時です。10年ほど前からです。引き続き『ACELINK Nav i事務所請求管理』を利用しています。

**西山** システム化する前、請求書はどうされてましたか。

**村田** 税理士会から請求書用紙を購入してました。手書きですから、時間も手間もかかりましたね。それから比べると、システム化して請求業務にかかる時間が短縮できています。

**西山** 企業では、未収金の管理を重要視されますが、

先生の会計事務所ではどうですか。

**村田** 企業と違い、会計事務所では、未収となることはほとんどありません。私の事務所では、自動引き落としをお願いしていますから未収になることもないし、入金業務も軽減されます。しかし、すべての顧問先が自動引き落としではないため、当然、回収できていない顧問先もあります。そんなときは、事務所請求管理システムを開けばすぐに入金状況が確認できるため、私が気付く前に担当者がお客様へ問い合わせをしてくれています。紙で管理していると難しいことも、システムを利用すれば簡単にできます。

**西山** ほかに便利なと思う機能はありますか。

**村田** 所得の内訳書が作成できま

**西山** 法定調書との連動も利用されていますか。

**村田** 現在は利用していませんが、事務所請求管理から法定調書へ連動できるとききました。そのまま、電子申告までいけるので便利そうですね。今後、利用してみます。

### 進捗管理・業務の可視化に 業務日報を活用

**西山** 『業務日報』は、原価管理に利用されていますか。

**村田** 今は、そこまでは考えていません。日報は、「職員が何をしているのか」、「進捗状況はどうなっているのか」を把握するために利用しています。原価管理まではしていませんが、顧問先別に従事した時間を確認し、顧問料の算定の基礎に利用しています。最近では、値下げ交渉をされることもありますから、実際の作業量を把握して、顧問先と折衝するのに活用しています。顧問料の見直



MJS高松支社  
西山知宏

しだけでなく、顧問先には、今まで事務所で処理していた部分をお願いするなど、作業の分担の見直しをお願いすることもあります。

**西山** 日報を入力するのはわずらわしいということも聞きますが、職員の皆様の反応はどうですか。

**村田** 以前は、紙に書かせていたから、入力するようになり、かえって便利になったと思ってるんじゃないでしょうか。職員は、終業時に日報を入力し、翌朝、私

が承認しています。業務日報には、「作業参照」という機能がありますから、本人が忘れていてもシステム側が、何時に、どのシステムを利用していたか教えてくれます。そういう点でも、簡単に入力できるような工夫されていて助かります。

**西山** ほかに業務日報システムの機能で活用していることはありますか。

**村田** 業務処理簿ですね。年に1回のことですが、日報を入力すれば自動的に作成されます。少し追加すれば完了しますからとても便利です。

そのほかにも、前期との比較を行っています。事務所内の効率化という意味でも、前年に比べ当年の事務作業時間は短縮されるべきです。3月決算は、時間との闘いですから、前年との比較は大切です。業務日報システムの出力帳票に、その機能がないのが残念です。是非、前年比較が帳票として出力できるようにしていただきたいですね。

**西山** 事務所の効率化の促進にも前年比較は必要ですね。しかし一方で日報は、会計事務所には不要という意見もきかれます。

**村田** 確かに、会計事務所は企業に比べ、職員の数が少ないところがほとんどです。しかし、ある程度の職

員数を抱えたときには、日報は必要だと思えます。私の事務所は、職員7名ですが、すべてに目が行き届くわけではありません。私は、職員に対して暇な時は、本を読んでもかまわないと言っています。それも正直に日報に入力しなさいと言っています。暇ということとは、仕事が早いということですから。日報を見ることで、目で見ただけでは分からない仕事の内容が見えてきます。大部分ではありませんが、給与の評価として日報の情報を参考にします。

### 災害など、もしもの時に備えたデータバックアップ対策

**西山** MJSセキュアストレージサービスをご利用いただいています。が、災害対策など気にされていませんか。

**村田** この度の、東日本大震災で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。私の事務所も海抜0メートル地帯で海に近いんです。ですから、人ごとではありません。数年前に高知新聞の記事で、高知県の地震による津波の水没予想が掲載されました。私の事務所はその範囲内だったんです。それで、以前よりデータのバックアップについては、災害

時にも対応できるように思っていました。そこにMJSの担当者から紹介いただいたのがストレージサービスだったんです。

**西山** 以前のテープを利用したバックアップと比べて便利になりましたか。

**村田** そうですね。テープの時は火災のことも考え、自宅に持ち帰っていました。今は、外付けのハードディスクへのバックアップとストレージサービスの2重の体制をとっています。これで、テープを持ち帰るという手間がなくなり、便利になりました。

**西山** ストレージサービスは、月額制ですが価格について問題はありますか。

**村田** 本来、事務所のデータすべてをバックアップすると、何十GBになります。私の事務所では、最新年度のデータのみをバックアップ対象とし、毎月の使用料を低く抑えています。万全ではありませんが、災害への対策としては最新年度の保全が最優先と考えています。

**西山** MJSのストレージサービスを選んでいただいた理由はありますか。

**村田** MJS以外で、と考えたこともなかったですね。また、他社なら

導入しなかったかもしれない。お客様の大切なデータですし、そこは、信頼のあるMJSだからお任せしたいということ。今後、皆様のご期待に添えるよう有益な情報をご提供できればと思います。本日は、ありがとうございました。

村田 一 所長



取材事務所：  
村田税理士事務所  
所長／村田 一  
〒780-0833  
高知市南はりまや町  
2丁目4番3号  
TEL .088-884-1734

\*「ACELINK」「ACELINK Navi」は、(株)ミロク情報サービスの商標または登録商標です。



# 我が事務所の顧問先紹介

“日本一の木彫人形づくり”をモットーに、「お客様に喜んでいただいた結果として会社の利益が出る」という考えのもと、堅実な会社経営を目指す伊予一刀彫「南雲」。その二代目である西川隆一社長に宮川康税理士事務所の宮川康所長が訪問インタビュー。

**宮川先生**（以下敬称略） 昭和30年（1955年）創業とのことですが、沿革をお話してください。

**西川** 松山南高校デザイン科に入学した頃は、画家を志望していました。ですが、卒業のときに夢をあきらめ、家業を継ぐことになりました。当時は作ったオリジナルの人形をお土産屋さ



▲宮川康先生（左）と西川隆一社長

んに送れば、すべて買い取ってもらえるような良い時代でしたしね。しかし、私はこのままずっとお土産品制作を続けていくことに疑問を抱くようになり、もっとプライドが持てる仕事をしたいと、新たに「日本の四季」というテーマを掲げて新感覚の人形作りを目指すことになりました。です

が、それではお土産屋さんで販売することができません。先代から「東京で通用しなければ将来はない。東京へ行つて状況を見て来なさい」といわれ、何のつてもなかったのでもなかつたので県人会を訪ねてみました。そこである食品会社を紹介され、

そこから三越さんを紹介されたのです。その結果、新宿三越で展示販売会を開くことができました。しかし、最初は全然売れず返品山。失意のなか、先代からは「10年辛抱しなければ答えは出ない」といわれ、ならばもつといい作品を作ろうと発奮したことを覚えています。それから、30年余り、今日に至るまで人形の企画・制作を独自の作風で続けてきました。私が創作人形を作るようになってからは、先代は造仏に精進するようになりました。

**宮川** 会社組織にされたきっかけをお聞かせください。

**西川** 平成元年に初代が72歳で他界して、その葬儀の場で「先代の後を守るのは大変、大丈夫か」という声もれ聞こえてきました。そこで、次の代はやる気がある、本気だということを知らしめるために、株式会社南雲を設立したのです。とはいえず、会社組織にしたらどうなるかなど、まったくわからない状況での設立でした。

**宮川** 後継者はいらっしゃいますか。

**西川** 平成8年に息子の信平（昭和47年生まれ）が三代目南雲として入社しました。

**宮川** 伊予一刀彫についてお話しください。

**西川** 奈良の一刀彫を追い越す意気込みで、先代から取り組んでいます。独学で我流です。数本のノミでの彫りの工程から彩色に至るまで、ひとつ



▲伊予一刀彫「南雲」の作業風景

ひとつに職人の技が施された伝統工芸です。木の持つ温かみと風合いに、独特の淡い彩色を施した優しい雰囲気が特徴です。

**宮川** 切手の図案に採用されたとか。

**西川** 平成16年、初代より数えて50年目の節目に伊予一刀彫「三番叟」が全国年賀状切手の図案として採用されました。愛媛の伝統工芸として初めてのことでした。

**宮川** 現在職人さんは何名いますか。

**西川** 職人ではなく社員ですが、6



名います。役員3名を含めると9名です。

**宮川** 採用はどのようにされているのですか。

**西川** 出来上がったものは華やかですが、作る過程は地味な仕事です。ですから、辛抱ができる人を採用しています。

**宮川** 販路はどのようにされていますか。

**西川** 南雲はこれまで一切営業を行ってきませんでした。向こうから「南雲さんの作品を取り扱わせてほしい」と依頼されれば、当方の条件で販売できますから。そのほかカタログ通販などいろいろとチャレンジしてきました。現在は3代目がネット販売も展開しています。商品提供の問題があり、今は販路を増やせない状況で



▲5月をテーマにした「皁月組」

す。道後温泉本館の前にある直営店の「花心」をはじめ、京都・東京を拠点に全国の百貨店で販売を行っています。

**宮川** お客様に対して毎月、作家南雲よりの「絵手紙」を出されていますね。

**西川** 平成20年6月から直筆の絵葉書として出しています。頒布

会作品「移いの風」にご契約いただいたお客様をはじめ、南雲作品をお買い求めいただいたお客様に毎月お届けしています。以前は、Naun's Club会

報誌「四季便り」をお送りしてご好評をいただいておりますが、平成20

年5月で発行を休止し、その替わりにお届けしています。

**宮川** 頒布会作品「移いの風」とはどういうものですか。

**西川** 当社のロングヒット商品です。人形の販売は、どうしても売れる月が偏っており、年間を通じて販売できるようにと考えた商品です。南雲木彫人形の特徴



▲お客様に毎月発送している絵手紙

である「日本の四季」がテーマで、のひらサイズの小さなステージ」に毎月々々の季節々々を木彫で表現し、1年の移いを楽しむことができますようになっています。「木彫で綴る十二

の物語・移いの風」として、頒布販売しています。価格等詳細はホームページをご覧ください。宮川 今後の計画についてお話しください。

**西川** 先代と私の時代は、個人がリードするスタンダードをやってきましたが、次代は3代目を中心にした、総合力のある企業になってほしいと思っています。

先生との顧問関係はいつからで、そのきっかけはどんなことだったのですか。

**西川** 創業時は商工会議所の青色申告会で知り合った方をお願いしていました。ところが、その方はきちんと決算処理はやってくれますが、それ以上のアドバイスやサービスがなく、物足りなく感

じていたのです。そのときに家内の姻戚関係にあたる宮川先生を紹介され、お願いすることになりました。私はもともと数字が嫌いでしたが、損益計算書の説明やそれにもとづく業績予想を示してもらうにつれ、本当に数字は正直だと気がきました。今では借入金も早期返済が趣味になっています。借入金を返済すれば、次のステップの時に借入できますからね。

#### ■訪問事務所概要

事務所名…宮川康税理士事務所

所長…宮川 康

住所…〒790-0011 愛媛県松山市千舟町5-15

TEL…089-947-0702

#### ■会社概要

商号…株式会社南雲

所在地…〒791-8043 愛媛県松山市東垣生町1084

TEL…089-973-3565

代表者…西川隆一(二代目南雲)

創業…昭和30年(1955年)

設立…平成元年(1989年)

事業内容…日本の四季をテーマとした、木彫人形、屏風、木工芸品の企画制作と販売

URL <http://www.naun.co.jp/>



## 被災地支援・ボランティア

復興活動を最前線で牽引する  
ボランティアと被災地支援の現状

東北地方太平洋沿岸部を中心とした東日本に甚大な被害をもたらした東日本大震災。震災直後の惨憺たる街の映像に言葉を失った方も多いでしょう。そんな被災地では、一日も早い復興に向けた復旧作業が急ピッチで行われています。そうした復興への動きを牽引しているのがボランティアや市民レベルでの支援活動です。ここでは、そんな被災地支援に向けた3つのボランティアの活動を紹介します。

ゴールデンウィーク中、東日本大震災の被災地に全国各地から多くのボランティアが駆けつけたことは記憶に新しい。震災復興の力となることを望む人々の数は予想をはるかに超え、一部の被災地ではこうしたボランティアの受け入れ制限を行ったほど。しかしながら本格的な復興に向けては、まだまだボランティアの力が必要とされています。

こうした被災地におけるボランティア活動の情報を発信する**全国社会福祉協議会「全社協被災地支援・災害ボランティア情報」**では、青森県1カ所、岩手県21カ所、宮城県13カ所、福島県30カ所、茨城県10カ所、栃木県2カ所、長野県1カ所に災害ボランティアセンターを設置。被災地での支援活動を希望するボランティアの受け入れ

を行っています。注目したいのは、3月

11日の東日本大震災の被災地だけでなく、3月12日に震度6の規模で地震が発生した長野県栄村にも同センターを設置し、支援活動を展開していることです。報道レベルではあまり注目されることはなかったが、同村一帯

は多くの家屋が倒壊するなど甚大な被害を被っただけに、東日本の被災地と共に有志として集ったボランティアの存在は復興へ向けての大きな原動力となることでしょう。

組織的な被災地支援活動だけでなく、個人単位での支援活動も盛んに行われています。たとえば、**東日本大震災・被災者復**



「Toksy (トクシー)」(<http://www.toksy.jp/>) のトップページ

な魚介類や野菜をオンライン注文できる「**築地市場ドットコム**」では、安全であることが確認されているにも関わらず風評被害で廃棄せざるを得なかった野菜類を、10品目以上の「産地応援・お買得やさしいセット」として通信販売。もち

興支援サービス「Toksy (トクシー)」では、ウェブサイトを通じて被災者と支援希望者をマッチングさせるという試みを展開しています。被災者は主に物資面のリクエストを同サイトに投げかけ、それに適う物資を準備できる支援希望者が、送料を自己負担の上、被災者に届けるというシステムです。被災者が本当に必要としている物資をポイントで提供できるだけに、より合理的かつ直接的に貢献することができると

また、風評被害による出荷停止の農産物を流通させることで、被災地支援へと繋げる試みも行われています。築地市場で扱う新鮮



「築地市場ドットコム」(<http://www.tsukijichiba.com/>) の「産地応援・特別企画」ページ

は生産者にとっても大きな励みになるはず。市場と密に接した販売業だからこそその被災地支援の形だといえるのではないだろうか。

ひとりでも多くの人たちがボランティアや被災地支援に参加することが、被災地の復興につながるのには間違いない。震災後2カ月を経過した今、ボランティアが大幅に減っているという報道がありますが、今こそこうした支援活動を我々も行う必要があるのではないだろうか。

ろん、政府指導に基づき出荷自粛となった野菜はこのなかには含まれていません。あくまでも「安全であるにもかかわらず風評被害で流通できなくなった野菜」が中心です。風評被害によりせっかく獲れた作物や牛乳などを生産者がやむなく破棄するシーンが幾度となくテレビで流され、心を痛められた方も多いことと思います。そうした運命を辿るはずだった野菜類が、こうして一部だけでも市場に流通させられるというの



防災グッズ

# ワンレベル上の防災への備え

「オフィス防災EXPO」(リードエグジビジョンジャパン(株))  
に見る最先端の防災グッズ

地震や原発事故など、我々を取り巻く脅威は日増しに深刻さの度合いを増し、危機管理ソリューションへのニーズが高まっています。そうしたなか、去る5月11日〜13日、東京ビッグサイトで開催されたのが「オフィス防災EXPO」です。第5回目となる今回は39の企業・団体が出展を行い多数の入場者で盛況を極めました。ここではそんな防災グッズの中から注目すべき商品を3点紹介いたします。

我が国に未曾有の惨事をもたらした東日本大震災。また、これから起こると予想されている地震も多くあります。そこで、地震をはじめとする数々の災害に備えるべく、防災ソリューションの提案を行う「第5回オフィス防災EXPO」が開催されました。出展された最先端の防災グッズの数々から、特に注目すべきものを選定しました。参考にしていただければ幸いです。

今回の被災地を見ても、水や食料などと共に要望が多かったのが「トイレ」でした。ライフラインの切断により水洗トイレが使えなくなる地域が多数発生し、避難所では、収容人数に対し十分な数の仮設トイレが確保できないという問題が発生しました。

首都圏においても「帰宅難民」がトイレ不足に悩まされたことは記憶に新しいところですが、(株)エクセルシアの『ほっ!トイレ』(525円)は、そうした際に強い味方となる携帯用トイレです。便座を備え、



(株)エクセルシアの「ほっ!トイレ標準パック」(525円)

世界初のタブレット式処理剤により雑菌も臭気も抑えることができます。使用時には身体全体を覆うポンチョが付属されており、排せつ中の姿を周囲に晒さなくて済みます。コンパクトなのでカバンに入れて持ち運ぶことができ、使用後は付属のビニールにくるみそのまま捨てるので、災害時には最適の商品です。

停電の際電池不足の問題を解決するのが、(株)スターリングの『ラジオライト』(7,300円)です。手動式充電器を備え、ラジオとライトを使うこ



(株)スターリングのラジオライト「6000スターリングターボ」(7,300円)

とができる多機能ラジオオシリーズです。いずれもソーラーパネルを搭載し、太陽光発電にも対応しています。また、携帯電話用の充電端子を備えており、バッテリー切れとなった携帯電話を充電することもできます。災害時において頼りになる商品です。

そして、もうひとつ重要なのが食料の問題です。とくにライフラインが切断された被災地においては火を使った調理が不可能なため、温かな食事はまず望めないのが実情です。そのためパンや菓子類など口にできる食べ物も

おのずと決まってきます。そうした状況下において、火を使わず手軽に温かき栄養ある食事が可能となるのが、ホリカフーズ(株)の『レスキューフーズ』(3,788円)です。同梱された発熱剤の化学反応を利用してパックされた食材を温めるだけなので調理の必要もありません。メニューはカレーや牛丼、シチュー&ライスなど。常温で3年6ヶ月の保存が行えるなど保存性も高く非常時の備えに最適な商品です。



ホリカフーズ(株)のレスキューフーズ「一日セットスタンダード」(3,788円)

備えあれば憂いなし。誌面の都合で3点だけしか紹介できませんが、他にも多くの防災グッズが販売されています。この機会に、事務所やご自宅に、防災グッズを揃えられてはいかがでしょうか。顧問先へも紹介して頂ければと思います。



# ご当地自慢

## 愛媛県松山市内子町

案内人／近藤猛 税理士事務所  
近藤猛 所長

司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』の舞台となったことで、脚光を集めている愛媛県松山市。行政も積極的に観光振興を進めており、連休ともなると観光客で街中賑わっています。また、今回は松山だけでなく、江戸時代より和紙と木蠟で栄えてきた愛媛県内子町もご案内いたします。愛媛を代表する歴史のまちの魅力をは是非とも感じてください。

### 松山の士族と文人の文化を今に伝える「萬翠荘」

(愛媛県松山市)

萬翠荘は第15代松山藩主にあたる久松定謨伯爵の別邸として建てられた、愛媛県でもっとも古い鉄筋コンクリート造りの建築物です。総面積は887.58平方メートルで、建物は3階建てになっています。ちなみに、久松伯爵は司馬遼太郎の『坂の上の雲』に登場する秋山好古や正岡子規と交流があった人物として知られています。まずは、この建築物の特徴を見て



「萬翠荘」の外観

みましょう。一般的な西洋建築は左右対称ですが、萬翠荘は日本人の美意識に合わせて、左右非対称となっています。また、車寄せと玄関ホールに柱にコリント式（ギリシャの建築様式）をモチーフにした装飾が施されているのもユニークです。

内装に目をやると、当時の日本の建築物では珍しく、チーク材が大量に使用されていることがわかります。チーク材とは西洋建築に使用される代表的な木材のこと。硬く、彫刻には不向きな材質なのですが、わざ

わざ西洋から材質を取り寄せてまで作ったそうです。その精緻なデザインと彫刻からは、設計を担当した木子七郎の心意気と松山藩の栄華を感じることができません。そのほか、踊り場にあるアールヌーボー調のステンドグラスも必見の品です。波立つ海原を帆船が航海していく様子が描かれています。そのダイナミックな構図からは海外への憧憬を感じることができません。なお、設計者である木子氏は宮大工の家系に生まれながら、西洋視察などを経て西洋建築の研究に没頭した人物で、萬翠荘だけでなく大阪国技館などの著名な建物を設計したことでも知られています。



「萬翠荘」のステンドグラスと近藤猛先生

また、萬翠荘のバックヤードには復元された愚陀佛庵があったのですが、昨年大雨で土砂に飲まれてしまいました。愚陀佛庵は正岡子規と夏目漱石が俳句を楽しんだ庵として有名で、多くの文人たちが夜な夜な句会を楽

しんだといわれています。土砂被害に遭うまでは観光名所としてだけでなく、俳人たちの集いの場としても使われていました。再建には莫大な費用が必要になりますが、ふたたび幽玄な愚陀佛庵の姿を目にできる日が来ることを期待したいものです。

### 内子町が誇る伝統工芸 和蠟燭の製造・販売「大森和蠟燭屋」 (愛媛県内子町)

つぎに内子町に足を運んでみましょう。江戸時代に和紙と木蠟の産地として栄えたことで知られる地域です。そもそも、ロウとは蠟の実を蒸して压榨し、絞り出された脂のこと。しかし、当時はロウを絞ることはできても漂白する技術がなかったそうです。これに革命を起こしたのが内子町の芳我弥三右衛門です。彼は10数年に



内子町の街並み



わたる研究開発の末、蠟をさらして漂白する技術を編み出し、内子町を日本屈指の白蠟の産地へと成長させたのです。



「大森和蠟燭屋」の外観

白ロウは明治時代になると、飛躍的に販路を広げていきました。ロウの用途が蠟燭だけでなく、化粧品や薬品などへと急速に広がっていったからです。とくに内子町の白ロウ作りは明治12、13年に最盛期を迎え、海外にまで販路を拡大していきました。実際、世界展覧会に出品して入賞するなど、そのクオリティはまさに日本が世界に誇れるレベルだったのです。そのため、当時の内子町には20数軒の蠟屋が誕生し、それらが町の財政基盤となっていたのです。

しかし、電灯の普及とともに蠟の需要は減少し、今では内子町には蠟産業の面影はほとんど残されていません。ですが、1軒だけ伝統的な和蠟燭作りを行っている店があります。それが6代目・大森太郎さんの「大

森和蠟燭屋」です。

「和蠟燭作りはまず芯を作ることからはじまります。竹串に和紙といぐさを巻いて真綿で止めれば完成です。そして、今度は出来上がった芯に熱したロウを手作業で塗り重ねていきます。何度も何度もロウを重ね塗りしていくことで、和蠟燭の断面は年輪のようになっていくのです」と大森太郎さん。もちろん、和蠟燭の層を均一な厚みにするには、職人ならではの勘と経験が必要になります。

型による大量生産と違って手間と時間がかかる和蠟燭ですが、普通の蠟燭よりも炎が大きく、煤が少ないという特徴もあります。内子町にお立ち寄りの際は、お土産に是非ともお買い求めください。



和蠟燭制作作業

## 木蠟で栄えた内子町に歌舞伎文化を発信した「内子座」

(愛媛県内子町)

内子町はけっして大きな町ではありませんが、現在も白壁の建物を数多く残しており、伝統的建造物群保存地区にも指定されています。豪華な造りや細かな細工が施された商家



「内子座」の外観

なども残っており、いかに木蠟が大きな財産であったかがうかがい知ることができます。

なかでも、当時の栄華を反映しているのが歌舞伎劇場「内子座」です。この歌舞伎小屋が建つたのは大正5年(1916年)、大正天皇即位を祝して創建されたと言われていました。出資者は地域住民18名といいますが、当時の内子町がどれほど栄えていたかがわかります。

劇場は木造二階建

で、中

は花道、すつぽん(花道の脇にある切穴)、回り舞台(回転させることができる)

舞台)、せりなどを兼ね揃えた本格的な仕様となっています。見学時には客席だけでなく、奈落(舞台や花道の床下の総称)に入ることでもでき、そこにある回り舞台の仕掛けなどを見ることがもできます。

ちなみに、内子座は見学者の受け入れだけでなく、劇場としても機能しています。毎年8月には文楽の舞台、2年に一度は歌舞伎の舞台を催しているのです。そのほか、コンサートや芝居、芸能発表会など、さまざま催しに使用されており、年間30〜60日は使用されているそうです。

このように松山市や内子町には江戸時代から明治にかけての歴史と文化の面影が色濃く残されています。是非ともその雰囲気味わいに、愛媛を訪れてみてください。



「内子座」の内観

ご当地自慢 愛媛県松山市内子町



# 百年企業

## ● (株)山岸竹材店

住所／高知県須崎市安和9-1-1  
TEL 0886-42-2601  
http://www.takefora.co.jp/

### 「虎竹製品」を普及するため 時代に合わせた販路を開拓!!

(株)山岸竹材店の創業は1894年(明治27年)。高知県須崎市の安和地区でしか育たない「虎竹」を使った製品を製造・販売する竹専門メーカーだ。戦中・戦後の動乱、プラスチックの台頭、団体旅行者の減少など、さまざまな困難を乗り越えながら、現在も全国に虎竹の魅力を発信し続けている。さっそく、同社の4代目・山岸義浩社長に同社の歴史と今後の展開について聞いてみた。

虎竹とは表面をガスバーナーなどで炙ると、虎のような模様が生じ、上から高い評価を得ており、表具や茶道具、花道具などに使用されてきた。(株)山岸竹材店ではこの虎竹の竹材を中心に、竹かご、ざる、竹箸、竹皮草履、竹鬼おろし、蒸籠、竹弁当箱、竹家具、竹炭、竹酢液、竹布といった製品も取り扱っている。

4代目の山岸義浩社長は「当社はもともと大阪で創業した竹材商だったのですが、曾祖父が安和の山主の娘と結婚し、



4代目の山岸義浩社長

戦争中に疎開せざるをえなくなつたのを機に、こちら

に移り住むようになった」と話す。そして安和に拠点を移した同社は、自然と虎竹製品の販売を行うようになったという。「当時は嫁入り道具などに虎竹を使った製品が大人気で、作っても作っても製造が追いつかない時代があった」

そうだが、しかし、高度成長期になるとプラスチック製品が急激に台頭し、虎竹をはじめとした竹製品の需要は激減。それと同時に、同業者も続々と廃業していったという。

そこで、同社は70年代から小売りにだけでなく、自社商品の開発と販売に挑戦。「四万十川ブームで、本社前の国道を自動車がたくさん通っていた。この人の流れを生かそうと、本社に隣接した実店舗を構え、自社製



天然竹の消臭性、抗菌性のある竹皮を使った草履

品の直接販売を展開しはじめた」のだ。直販のおかげで「顧客のニーズを知ることができるようになり、商品のバリエーションを増やすことができた」と山岸社長。現在、直営店では3,000種もの竹商品を扱っており、その1割程度が自社製品になっている。

しかし、平成元年頃になると団体旅行ブームにかげりが出るようになり、直営店を訪れる客足が減少。頭を悩ませた山岸社長は店舗の規模を3分の1程度に縮小し、インターネットショップを開設。すると「当初は今ひ

とつだったのが、徐々に成果があがってきた。今では、ありがたいことにネットショップで100回近く購入してくれているリピーターも出てきた」と話す。

加工品のニーズが増える一方で、竹材の販売もしつかりと続けている。「虎竹がメディアで取り上げられたりしたこと、尺八や万華鏡などの作家からも注文が来るようになった。なかには、海外から仕入れに来るような作家もいる」そうだ。無論、製材にも老舗ならではの技と経験が生かされている。「竹は生えてから3カ月で親竹と同じ見た目になる。しかし、若い竹は

強度が弱く、3年経たないと商品にはならない。そのあたりの見極めには職人の勘が必要になる」と山岸社長。

ただし、製材の分野では職人の高齢化と後継者不足という問題が浮上している。そのため、今後は「製材分野を内製化できるような体制づくりを進めていきたい」と山岸社長は意欲を見せる。時代の変化に柔軟に対応しつづける山岸竹材店、これからも地域資源である虎竹の普及に励み続けてほしいものだ。

#### 〈後藤俊夫の百年企業レポート〉

虎竹というオンリーワンの素材をフル活用している老舗企業です。虎竹はその美しさと珍しさから、日本のメディアはもちろんだ、イギリスのBBCにも取り上げられるなど、世界的にも注目を集めている素材です。これを所有していることは、同社の最大の強みといえるでしょう。

しかし、いかにオンリーワンの素材を有しているとはいえ、竹材そのものの需要が減っていることは間違いありません。その点、同社は急激な時代の変化、ニーズの変化に柔軟に対応し続けてきたことで、つねに新しい販路を開拓することに成功しています。事実、商品ラインナップも頻繁に変えており、つねにいま必要とされているモノづくりに注意を払っていることがうかがえます。山岸社長によると「近いうちに新商品も発表できる」とのことです。まさにこれからも注目目の百年企業だと思えます。

後藤俊夫教授 東京大学経済学部卒業後、ハーバード大学でMBA取得。日本電気株式会社(NEC)に入社、ソリューションビジネス事業推進本部長等を歴任。静岡産業大学教授を経て、05年光産業創成大学院大学教授を経て、日本経済大学教授に就任。専門は経営戦略(フタミリーゼシス)。





# 会計人の りしーエッセイ

四国ミロク会計人会 太田一司

## 獅子たちの里

私が生まれ育った香川県の三木町は、高松市の東に位置し、東西約5・8キロ、南北約18・4キロと南北に細長い地形をしており、人口2万8000人余りの町で、高松市のベッドタウンともなっている。平成の大合併までは、北に位置する牟礼町、庵治町とともに3町で木田郡を構成していたが、2町が高松市との合併を選択したため、現在では単独で郡を構成することとなってしまった。

さて、三木町には、頭(かしら)の高さが、大きいもので約1・5メートルの日本最大級の大獅子が3頭と、各地区神社の獅子連の40余頭の小獅子がいる。大獅子を動かすには、小さいもので50人、大きいものでは80人が必要で、毎年9月の最終土曜日に開催される「獅子舞フェスタ」は、今年で20回を迎える。大小の様々な獅子たちの迫力ある舞が見られる三木町最大の行事のひとつだ。

「チーン、チーン、トコトコ、トコ、チーン、トコトコトコ…」その音は、毎年9月になると聞こえてくる。地元神社の獅子連が練習する太鼓と鉦の音だ。これは秋祭りのあ



獅子舞フェスタの様子  
(左：天野神社の獅子、右：氷上八幡神社の獅子)

る10月中頃までほとんど毎晩続けられる。三木町の獅子は、色黒で耳が大きく動くのが特徴らしい。  
あれは私の妻が嫁いで来た年のことである。彼女も三木町で育つたため、当然のように子供の頃からその地区の獅子舞に親しんでいる。その彼女の一言「この獅子舞はリズムが随分ゆつくりで、獅子は動かずに寝てばかりだね」…。子供の頃からこのリズム、この舞に慣れ親しみ、他の地区の獅子舞をじっくりと見たことがなかった私には、いつたい何のことをいっているのかよく解らなかつた。

その後、妻の実家の地区の秋祭りに行った私は愕然とした。太鼓と鉦のリズムが全然違う。獅子もほとんど止まる場面がなく動きが激しい。我が地区の獅子は、大袈裟に言えば、舞の時間の半分は耳だけを動かして伏せをしている状態なのである。そのうえ三木町中の秋祭りが今日行われているのに、なぜ我が地区だけが翌週なのだ。疑問に思った私は近所の年長の方に尋ねてみたところ、案外簡単な理由であった。それは「町内の獅子はほとんどが雄であるのに対し、この獅子は雌だから、動きもゆつくりで祭りも最後に催される」ということであった。妙に納得したことはもちろんであるが、獅子にも性別があることを初めて知ったのであった。

### 表紙の写真

「銚子溪自然動物園 お猿の国」  
(所在地：香川県小豆郡土庄町)

オリーブの産地として知られる小豆島ですが、実は野生の猿が多いことでも有名。表紙の写真は「銚子溪自然動物園お猿の国」で一枚。景勝地の銚子溪に住む約500匹の野生猿を餌付けした自然公園です。一般的に野生の猿は攻撃的だそうですが、ここに住む猿は比較的温和な性格だといわれています。ちなみに、表紙の写真はこの春に生まれた小猿が母猿から乳をもらっている様子です。乳を飲みながら小猿が遠くを見つめる姿は、あたかも自分の未来を見つめているようで印象的でした。  
(田中伸廣)



### 月刊 税理士事務所 Channel

通巻 358 号

- 発行/株式会社ミロク情報サービス  
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-29-1  
TEL. 03-5326-0304 (ミロク会計人会事務所)
- 発行人/是枝 周樹
- 編集企画/ミロク会計人会連合会広報委員会  
ミロク会計人会事務所
- 配信制作/東方通信社
- 印刷/御幸印刷株式会社
- 購読申込/株式会社ミロク情報サービス
- 禁無断転載



# I-O DATA

データの安全性を追求した

# RAID 6 対応 NAS

※お客様のデータを保証するものではありません



RAID 6対応ネットワーク接続ハードディスク

## LAN DISK XR

ランディスク HDL-XRシリーズ

- 2TB HDL-XR2.0
- 4TB HDL-XR4.0
- 8TB HDL-XR8.0

### 注目機能 1

ハードディスクの障害からデータを守る

**RAID 6** リビルド中のHDD故障でもデータを失わない「RAID 6」に対応。任意の2台のハードディスクが同時または立て続けに故障した場合でもデータの損失を防ぐことができます。

**ホットスワップ対応**  
電源を切らなくてもディスク交換可能

#### RAID 5だと



1台のハードディスクの故障のみ復旧可能でした。

#### RAID 6だと



2台のハードディスクが同時に故障した場合も復旧可能です。

### 注目機能 2 高速転送 & 同時接続台数アップ

高い効率性を実現する高速プロセッサ搭載  
読み込みスピードが2.6倍

**LAN DISK XRシリーズ** **65.1 MB/S**  
従来機種 HDL-GTRシリーズ **24.9 MB/S** **2.6倍** **FAST**

動作環境:ベンチマークソフト:Crystal Mark 2004 R3 Q.9.126 PC:Dell PowerEdge SC440 CPU:Pentium D E2180 2GHz メモリ:1GB OS:Windows XP SP3

大規模オフィスでも安心のハイパフォーマンス  
同時アクセス時もパフォーマンスを確保

**LAN DISK XRシリーズ** **推奨最大同時接続台数が2倍(32台に)**  
従来比(HDL-GTR)

【測定方法】各PCと各製品をLAN接続し、パッチ処理にてスループットを計測。  
【測定PC環境】CPU:Intel Core2Duo E7400 2.80GHz メモリ2GB OS:Windows XP Professional SP2

### 注目機能 3 外付ハードディスクによる柔軟なバックアップ

ファイル、ユーザー設定丸ごとバックアップできる「eSATAミラーリング」

eSATA接続ハードディスクを増設

HDL-XRシリーズ → システム丸ごとバックアップ (ファイル、ユーザー設定) → eSATA接続ハードディスク

万が一、LAN DISKのハードディスクが全て故障した場合でもデータを戻すことができます。

対応eSATA接続ハードディスク

- eSATA&USB 2.0/1.1対応 外付型ハードディスク **RHD-UXシリーズ** (RHDカードリッジディスク採用)
- eSATA&USB 2.0/1.1対応 外付型ハードディスク **RHD4-UXRシリーズ** (RHDカードリッジディスク採用)

●I-O DATA®およびI-O DATA®のロゴは、株式会社アイオーデータ機器の登録商標です。●その他、一般に会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。●本製品の外觀・仕様は予告なく変更することがあります。●製品の色合いは、撮影・印刷の仕上り上、実物とは多少異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。